

001 大規模災害海上防災訓練の実施

取組主体

特定非営利活動法人リビエラ未来創りプロジェクト
株式会社リビエラリゾート

従業員数	想定災害	実施地域
185人	全般	神奈川県

- ・「環境×防災」を重視した様々な社会活動の一環として、ビーチクリーンイベントに併せて海上防災訓練（海路を利用した物資輸送）を実施した。

1 取組の概要

ビーチクリーンイベントの開催

- ・マリナー事業や環境活動に取り組むリビエラグループは、ブルーエコノミーを重視した地方創生プロジェクト『LOVE OCEAN』の一環として、2022年11月、葉山町森戸海岸から藤沢市片瀬西浜海岸にて「リビエラ湘南ビーチクリーン」を開催した。同日に海上防災訓練を実施し、海から救命用品などの物資や人が運ばれてくる様子を一般市民が見学できるようにした。



「浜から浜へ」海上防災訓練の様子

「浜から浜へ」人や物資を輸送する海上防災訓練の実施

- ・リポートと水上バイクを活用し、「浜から浜へ（市町から隣の市町へ）」救援物資などを輸送することで、災害時における海の活用を提案。訓練の様子は、イベントに集まった一般の参加者に向けて実況中継された。

「海から浜へ」人や物資を輸送する海上防災訓練の実施

- ・横須賀海上保安部と協働のうえ、「海から浜（海岸）へ」の輸送訓練を行った。海上保安庁の巡視艇から、海上にてリビエラ所有のリポートへ支援物資を引き渡し、リポートから水上バイクへ、水上バイクが浜に乗り上げ、首長らに引き渡す輸送訓練であった。



「海から浜へ」海上防災訓練の様子

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

海路の活用に関する一般市民への提案

- ・海と山に囲まれた湘南エリアでの災害を想定の上、港（棧橋）ではなく浜を使った海路が貴重な輸送ルートになることを実証し、訓練などを通じて一般市民にも体験していただく。取組によって広域のつながりを作るとともに、一般市民の防災意識を高め、大規模災害時に助け合える地域防災力を強化する。
- ・日本全国に目を向けても海の活用は不十分であることから、地域に合わせた「海の活用」の可能性を提案・実行し、ベストプラクティスとして広めていく。

海の魅力をフックに、関心の低い層へのアプローチ

- ・防災に関心の低い層にも「海の魅力」をフックにして本取組に関心を持ってもらうため、リポートや水上バイクでの登場シーンを美しく見せるパフォーマンスにもこだわった。
- ・海辺のクリーン活動を目的として参加した方に、この海上防災訓練の意義を伝え防災に興味を持ってもらうために、実況中継を実施することで、本訓練を実体験できるように工夫した。

3 取組の効果

- ・同時開催のビーチクリーンイベントに参加した一般市民に、訓練の様態を間近で見るといった体験により、防災を自分事として捉えてもらい、沿岸地域における海の活用方法を知ってもらうことができた。

国土強靱化

- ・神奈川県と鎌倉市主催の津波対策訓練（2023年11月5日開催）でも、行政からの要請を受け、同様の内容の「大規模災害海上防災訓練～浜から浜へ/海から浜へ～」が行われることになった。

4 取組への想い

- ・日頃から社内においても非常時に備えた訓練を日ごろから実施しつつ、レスキュー要請にも日常的に対応している。加えて EV による充放電ができるシステムを導入した日本初のホテルを開業し、非常時の電源供給を可能にするなど、「いつも・もしも」を両立させながら、環境にも配慮してきた。
- ・常に海に身を置き、海からの視点をもつ当社では、港機能不全や道路決壊するような災害発生時に、陸路に変わる「海路」が大変重要な役割を果たし、巡視艇などでは対応が難しい「浜」を活用すれば、孤立地域となった陸にでも、海上から人や物資を輸送できると考えたことが、本取組を開始したきっかけである。

5 防災・減災以外の効果

- ・総務省消防庁消防防災関係者を対象とした情報誌「月刊フェスク」にて、「このような取組はこれまでも聞いたことがありません。今後も大規模災害の発生が懸念される中、同じ様な地形の地域にとりましても大変参考となる取組であり、優良な取組として紹介したい。」とのコメントが寄せられた。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・訓練を実施した4市町（葉山町・逗子市・鎌倉市・藤沢市）においては、海から物資が輸送されるイメージをつかんでいただくことができた。それ以外の地域でも取組を評価する声が大きいため、今後は海と陸、近隣市町同士の人と人をつなげ、災害時には相模湾一帯が海を活用し、支援し合える環境になることを目指す。

7 周囲の声

- ・「巡視艇だけでは対応が難しい海上から浜への輸送が可能となる本取組について、地域の安全に大きく寄与する」（海上保安庁）
- ・「地域防災において非常に役立つ訓練であり、市民の安心安全に寄与する取組である」（包括協定を締結した逗子市）

担当者の声

- ・災害はいつ発生するか分からない。そのため、様々な角度から災害について考え、日ごろから備えることが肝心であると、今後も伝えていきたい。
- ・日本は海に囲まれた島国であるにもかかわらず、海の関係人口が少ないように感じる。海に身を置く者として、海からの視点での考えを伝えていきたい。
- ・海でつながる人々と協力体制を維持し、海の安全に備えていく。
- ・自然災害は、環境問題に起因することが多い。これ以上の地球環境悪化を防ぐため、日々一人ひとりが環境にやさしい取組を実践していくよう切に願う。

問合せ先

動画

サイト URL

特定非営利活動法人リビエラ未来創りプロジェクト 法人番号：6021005012089

株式会社リビエラリゾート 法人番号：4021001041639

電話番号：03-5474-8120 FAX：03-5474-8121

E-Mail：pr@riviera.co.jp URL：https://www.riviera.co.jp/

